

# 青森県経済統計報告

平成 20 年 8 月 4 日  
企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口（平成 20 年 7 月 1 日現在）..... 1

県人口	1,395,953 人（対前月 706 人 減少）
自然動態	357 人減少（出生者数 862 人、死亡者数 1,219 人）
社会動態	349 人減少（転入者数 1,366 人、転出者数 1,715 人）

## 2 本県の経済動向

### （1）経済概況

本県経済は、生産面の一部に動きがあるものの、消費面に足踏み感が窺われる。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 20 年 5 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年 = 100)は、季節調整済指数が 110.6 で、前月比 1.3%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 108.5 で、前年同月比 1.3%の上昇となり、2ヶ月連続で前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 20 年 5 月の定期給与は 226,367 円で前年同月比 0.8%増となった。総実労働時間は 151.9 時間で前年同月比 1.6%減、所定外労働時間は 9.5 時間で前年同月比 7.7%減となった。平成 20 年 6 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.44 倍で、前月比 0.02 ポイント下回った。 ... 3
- (2-3) 物価 平成 20 年 6 月の青森市消費者物価指数（平成 17 年=100）は、総合指数が 103.2 となり、前月と比べ 0.8%の上昇、前年同月と比べ 3.6%の上昇となった。 ... 4
- (2-4) 個人消費 平成 20 年 5 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 135 億 2 千 4 百万円で前年同月比 3.0%減と 3ヶ月ぶりに、既存店ベースでは 4.4%減と 2ヶ月連続で減少となった。平成 20 年 6 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 3,648 台で、前年同月比 5.3%の減となり、3ヶ月ぶりに前年を下回った。 ... 5
- (2-5) 住宅建設 平成 20 年 6 月の新設住宅着工戸数は 709 戸で、前年同月比 19.3%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。 ... 6
- (2-6) 電力使用量 平成 20 年 6 月の大口電力使用量は 2 億 2,196 万 kWh で、前年同月比 1.9%増となり、8ヶ月ぶりに前年を上回った。 ... 6

### （3）景気動向指数（平成 20 年 5 月分）..... 7

先行指数	44.4%（3か月連続で 50%を下回った）
一致指数	33.3%（4か月ぶりに 50%を下回った）
遅行指数	66.7%（7か月連続で 50%となった後、50%を上回った）

### （4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 20 年 7 月期）..... 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断 D I	19.4（前期比 10.1 ポイント減、4 期連続で 50 を下回る）
3ヶ月後の景気の先行き判断 D I	21.5（前期比 10.6 ポイント減、4 期連続で 50 を下回る）

# 1 青森県の推計人口(平成20年7月1日現在)

## 【概況】

平成20年7月1日現在の本県推計人口は、1,395,953人で、前月に比べ706人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が862人、死亡者数が1,219人で、357人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が1,366人、転出者数が1,715人で、349人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
19. 7. 1	1,410,247	664,306	745,941	-0.062%	-870	-361	812	1,173	-509	1,233	1,742
19. 8. 1	1,409,665	664,003	745,662	-0.041%	-582	-267	948	1,215	-315	1,939	2,254
19. 9. 1	1,409,176	663,804	745,372	-0.035%	-489	-414	850	1,264	-75	2,220	2,295
19.10.1	1,408,589	663,460	745,129	-0.042%	-587	-277	765	1,042	-310	1,710	2,020
19.11.1	1,408,039	663,193	744,846	-0.039%	-550	-321	982	1,303	-229	1,743	1,972
19.12.1	1,407,522	662,925	744,597	-0.037%	-517	-420	826	1,246	-97	1,309	1,406
20. 1. 1	1,406,738	662,556	744,182	-0.056%	-784	-534	769	1,303	-250	1,162	1,412
20. 2. 1	1,405,587	661,894	743,693	-0.082%	-1,151	-691	838	1,529	-460	1,126	1,586
20. 3. 1	1,404,462	661,311	743,151	-0.080%	-1,125	-512	795	1,307	-613	1,146	1,759
20. 4. 1	1,398,130	657,775	740,355	-0.451%	-6,332	-483	844	1,327	-5,849	4,045	9,894
20. 5. 1	1,397,463	657,462	740,001	-0.048%	-667	-531	818	1,349	-136	4,218	4,354
20. 6. 1	1,396,659	656,939	739,720	-0.058%	-804	-272	936	1,208	-532	1,299	1,831
20. 7. 1	1,395,953	656,474	739,479	-0.051%	-706	-357	862	1,219	-349	1,366	1,715

6月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平10.6	11.6	12.6	13.6	14.6	15.6	16.6	17.6	18.6	19.6	20.6
自然動態	出生者数	1,220	1,160	1,142	1,005	967	992	985	831	910	812	862
	死亡者数	1,041	1,034	971	1,008	1,011	1,045	1,064	1,151	1,189	1,173	1,219
	自然増減数	179	126	171	-3	-44	-53	-79	-320	-279	-361	-357
社会動態	県外からの転入者数	1,604	1,554	1,567	1,451	1,406	1,559	1,413	1,434	1,345	1,233	1,366
	県外への転出者数	1,566	1,533	1,653	1,658	1,655	1,637	1,729	1,782	1,807	1,742	1,715
	社会増減数	38	21	-86	-207	-249	-78	-316	-348	-462	-509	-349

1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

3 算出方法

県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数(出生者数 - 死亡者数) + 社会増減数(県外からの転入者数 - 県外への転出者数)

## 2 本県の経済動向

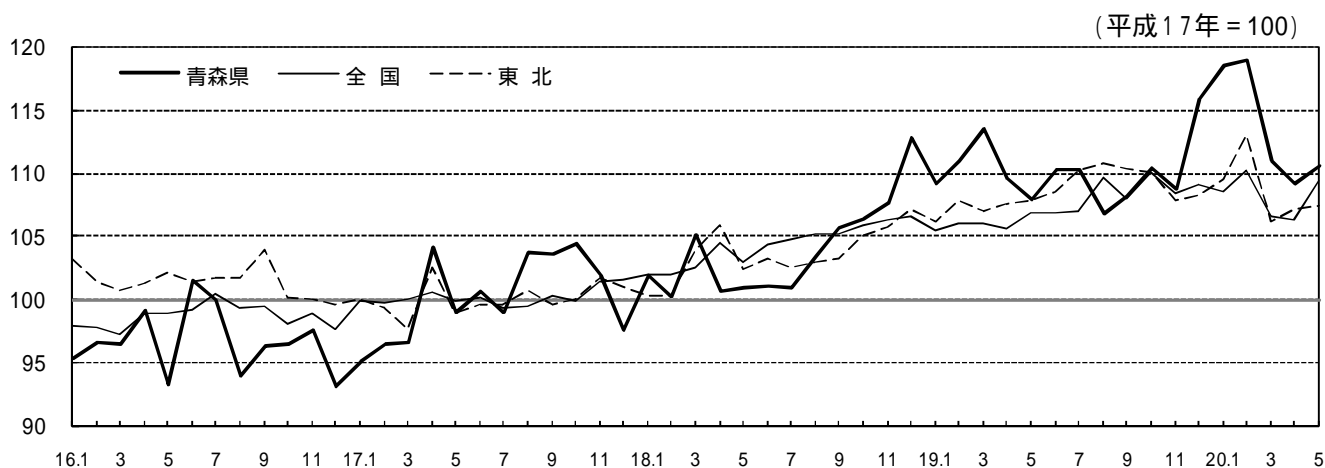
### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

平成20年5月の青森県鉱工業生産指数(平成17年=100)は、季節調整済指数が110.6で、前月比1.3%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は108.5で、前年同月比1.3%の上昇となり、2ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電気機械工業、一般機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、金属製品工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では1.3%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移 (季節調整済指数)

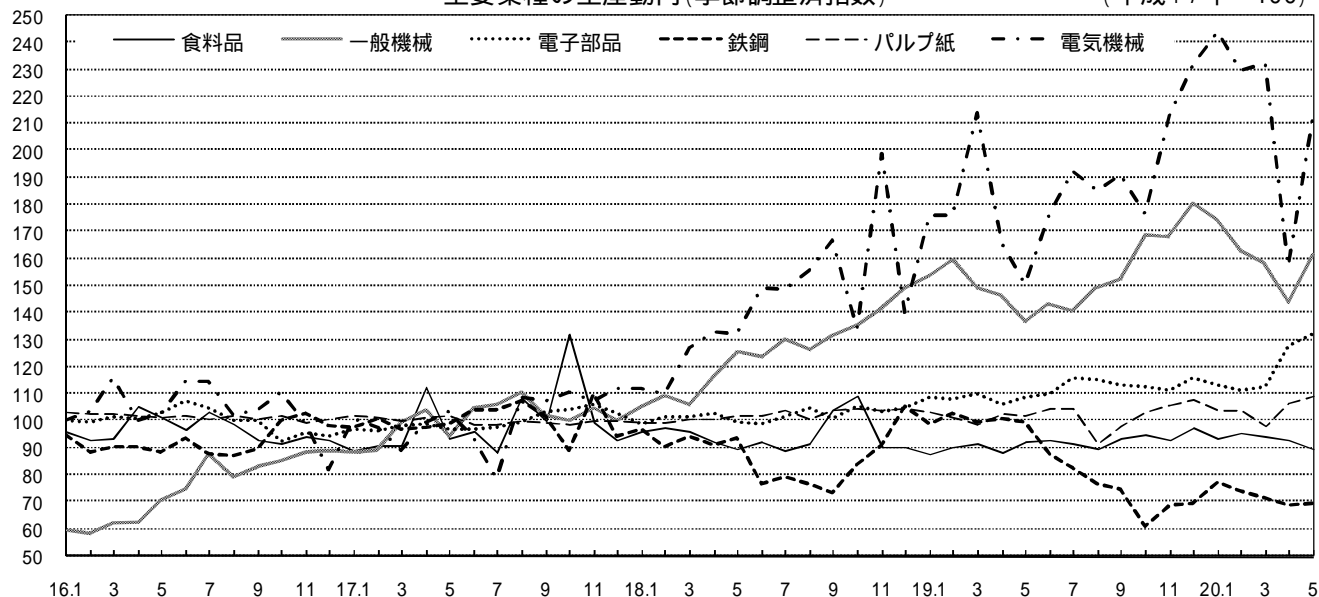


業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +1.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	35.3	143.4	化学工業	-29.9	-70.3
一般機械工業	12.1	103.1	金属製品工業	-29.0	-57.5
電子部品・デバイス工業	3.5	23.4	食料品工業	-3.7	-35.9
パルプ・紙・紙加工品工業	2.3	9.5	プラスチック製品工業	-15.5	-11.3
精密機械工業	5.4	5.6	窯業・土石製品工業	-6.6	-10.3

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成17年=100)



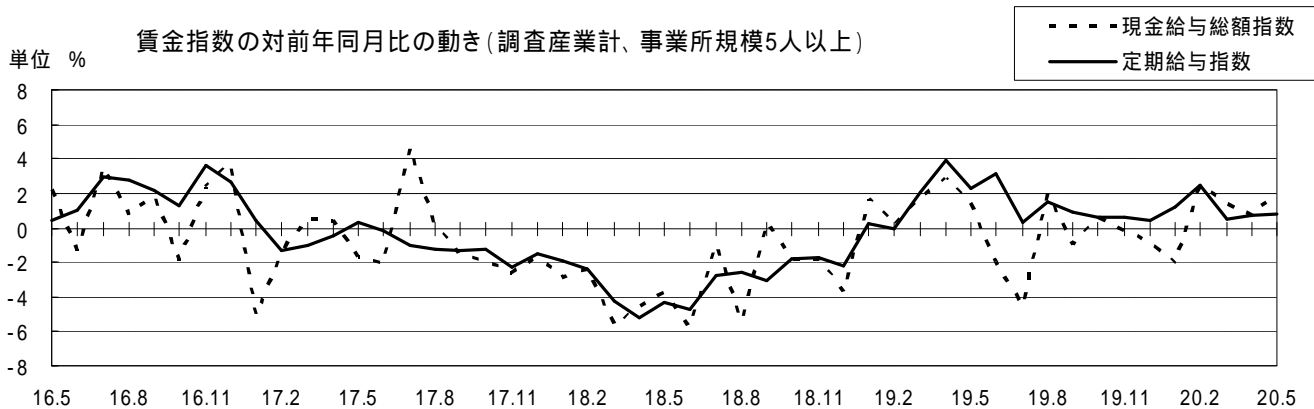
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## (2-2) 雇用情勢

平成20年5月の定期給与は226,367円で定期給与指数(平成17年=100)では98.4となり、前年同月比0.8%増(現金給与総額229,741円、現金給与総額指数84.2、前年同月比2.1%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.9となった。

総実労働時間は151.9時間で、総実労働時間指数は95.4となり、前年同月比1.6%減となった。このうち、所定外労働時間は9.5時間で、所定外労働時間指数では96.0となり、前年同月比7.7%減となった。

平成20年6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.44倍で、前月比0.02ポイント下回った。



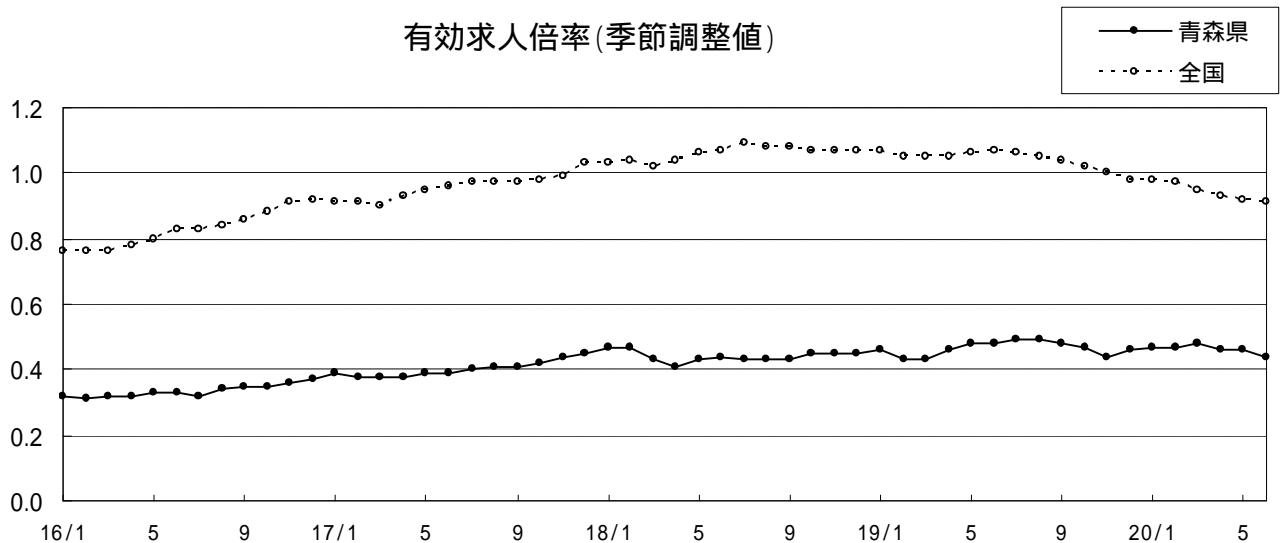
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	229,741 円	277,395 円	84.2	83.7	2.1 %	0.8 %
定期給与	226,367 円	269,730 円	98.4	99.8	0.8 %	0.5 %
特別給与	3,374 円	7,665 円				
総実労働時間	151.9 時間	146.8 時間	95.4	97.3	-1.6 %	-0.4 %
所定内労働時間	142.4 時間	136.3 時間	95.3	97.3	-1.3 %	-0.3 %
所定外労働時間	9.5 時間	10.5 時間	96.0	99.1	-7.7 %	-0.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

### (2-3) 物価

平成20年6月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が103.2となり、前月と比べ0.8%の上昇、前年同月と比べ3.6%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は103.2となり、前月と比べ0.9%の上昇、前年同月と比べ3.5%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.4となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。

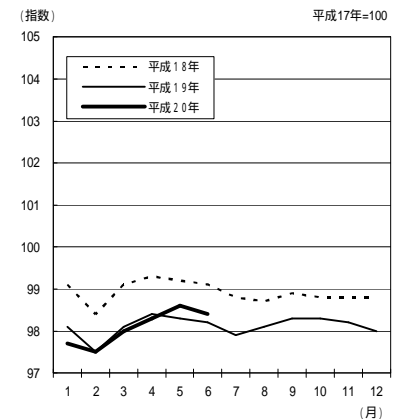
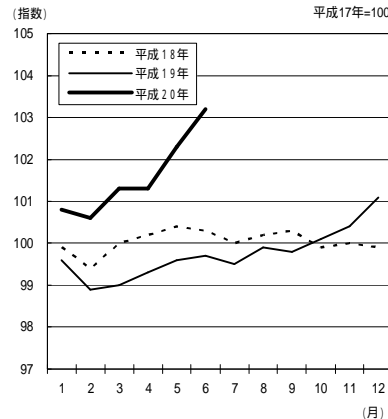
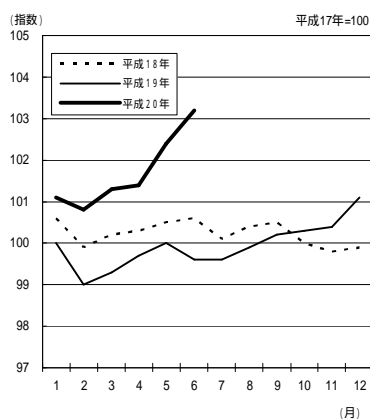
総合指数が前月と比べ0.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月比が3.6%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

図1 総合指数の動き

図2 生鮮食品を除く総合指数の動き



### 10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家・具・被及履 ・事 ・履 ・履	服 ・履 ・履	保 ・履 ・履	健 ・履 ・履	交 ・履 ・履	通 ・履 ・履	教 ・履 ・履	育 ・履 ・履	教 ・履 ・履	娛 ・履 ・履	養 ・履 ・履	諸 ・履 ・履	雑 ・履 ・履	費	
当月指数	103.2	103.2	103.9	98.4	102.6	103.3	99.2	125.5	96.2	99.4	99.3	106.2	101.7	93.9	101.7								
前月比(%)	0.8	0.9	0.9	0.2	0.1	1.6	0.0	6.2	0.5	1.2	1.1	1.3	0.0	0.1	0.1								
寄与度	0.78	0.83	0.74	0.12	0.03	0.09	0.00	0.71	0.01	0.05	0.04	0.15	0.00	0.01	0.01								
前年同月比(%)	3.6	3.5	4.3	0.2	4.3	5.1	0.4	17.1	4.6	0.2	0.2	5.4	0.5	2.1	1.5								
寄与度	3.61	3.32	3.63	0.13	1.21	0.28	0.08	1.83	0.13	0.01	0.01	0.59	0.02	0.20	0.09								

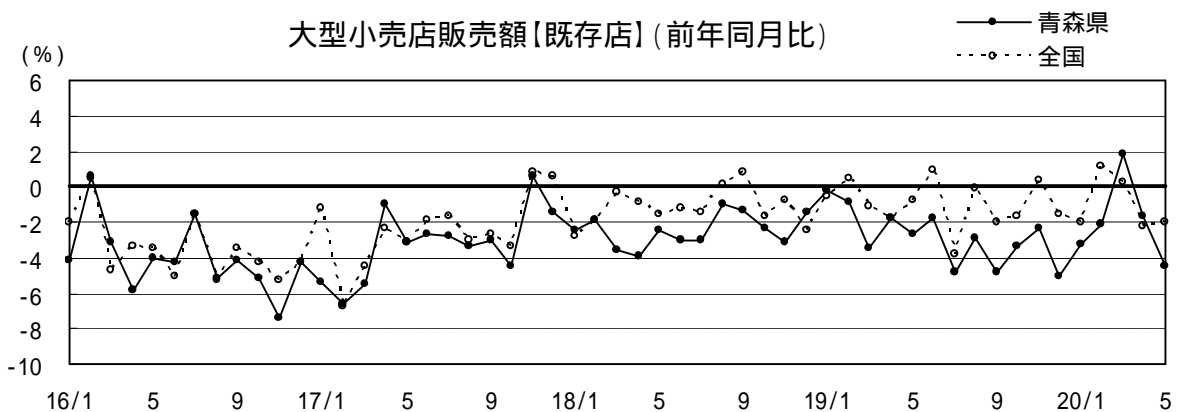
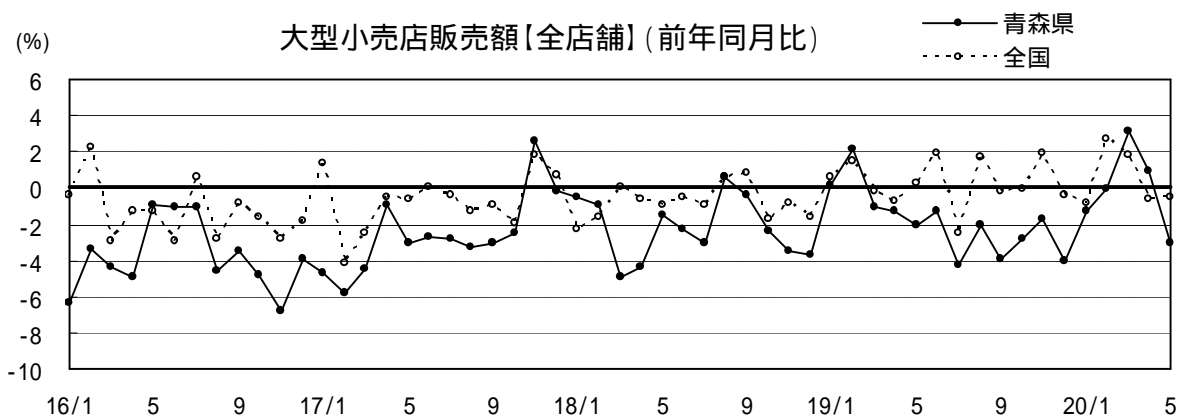
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

## (2-4) 個人消費

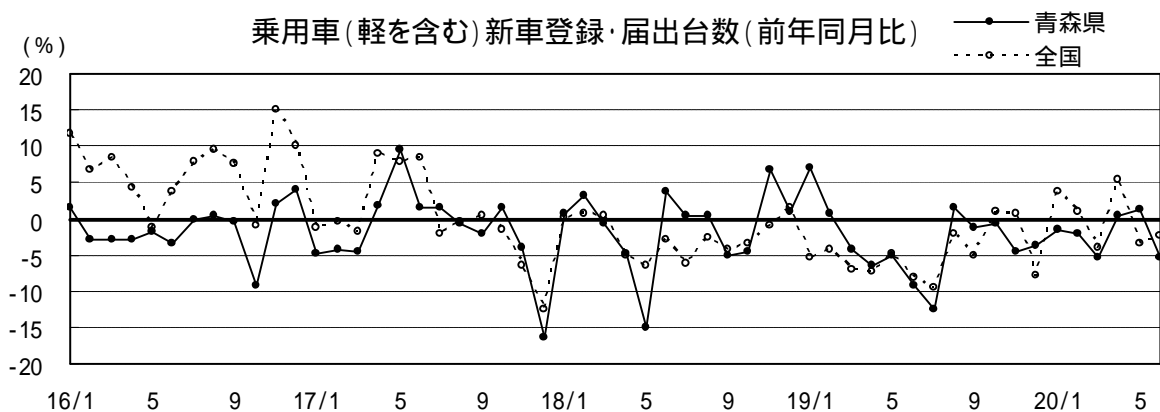
平成20年5月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが135億2千4百万円で前年同月比3.0%減と3ヶ月ぶりに、既存店ベースでは4.4%減と2ヶ月連続で減少となった。衣料品が全般的に伸び悩んだこと、鮮魚、野菜が低調な動きであったことから、百貨店は20ヶ月連続で、スーパーは2ヶ月連続で前年を下回った。

平成20年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,648台で、前年同月比5.3%の減となり、3ヶ月ぶりに前年を下回った。普通車が増加したものの、小型車、軽自動車が増加したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

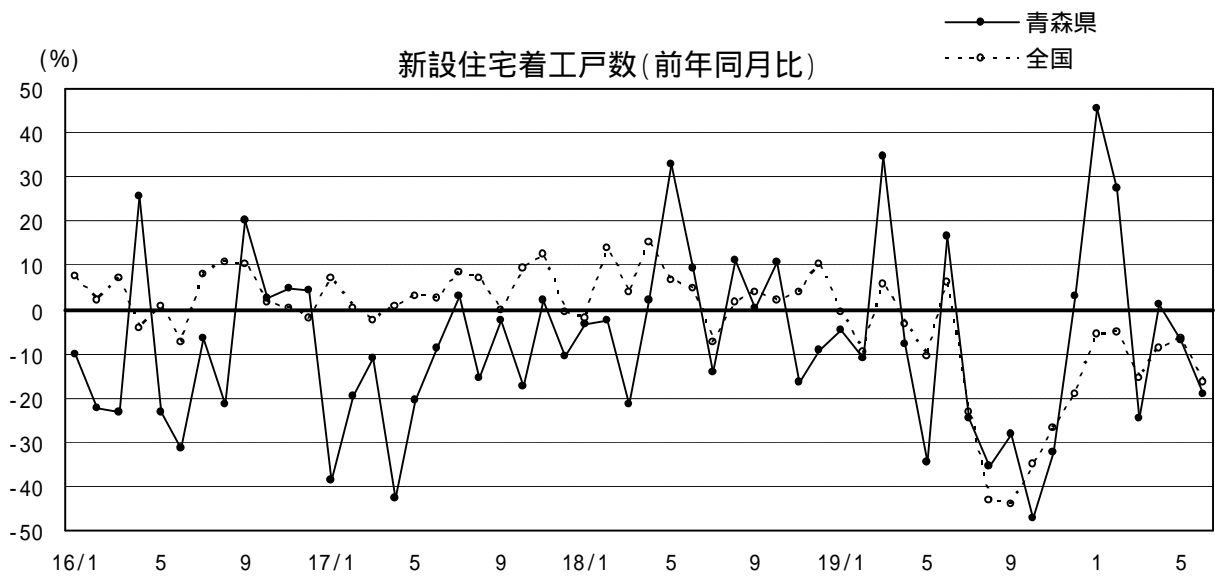
\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

## ( 2 - 5 ) 住宅建設

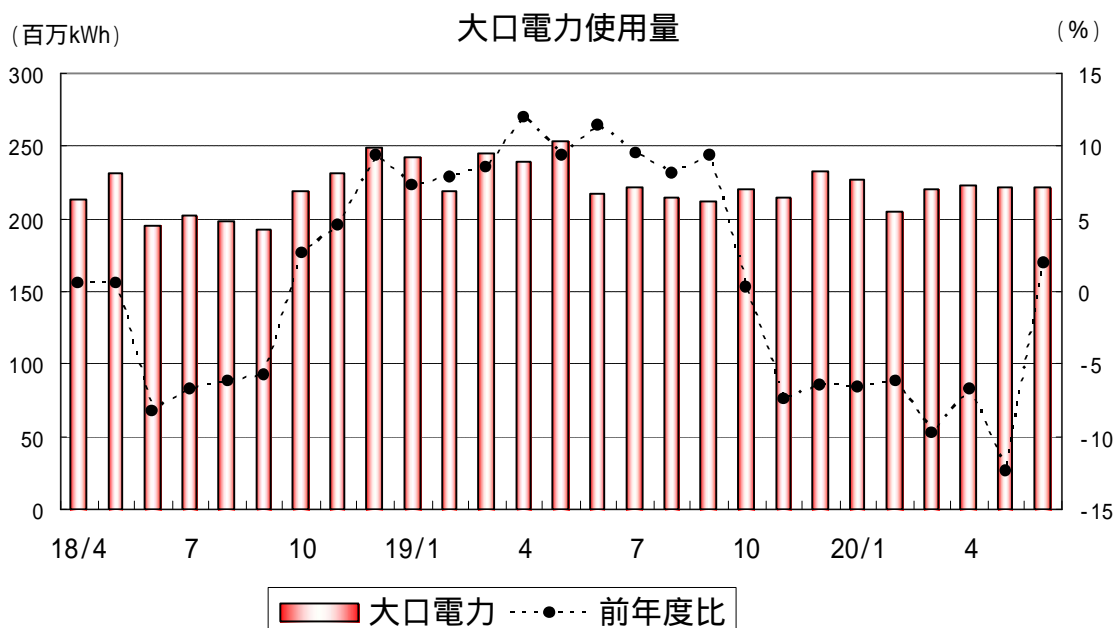
平成20年6月の新設住宅着工戸数は709戸で、前年同月比19.3%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。分譲が増加したものの、持家、貸家が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

## ( 2 - 6 ) 電力使用量

平成20年6月の大口電力使用量は2億2,196万kWhで、前年同月比1.9%増となり、8ヶ月ぶりに前年を上回った。「鉄鋼」「窯業・土石」「機械」などが稼働増となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

### (3) 青森県景気動向指数

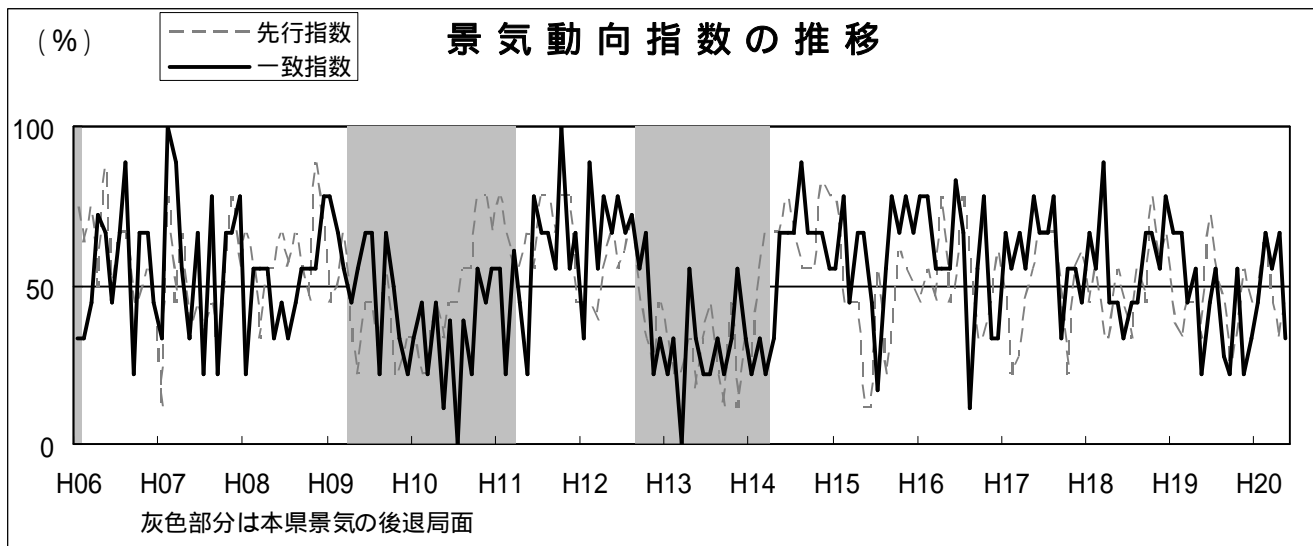
平成20年5月の青森県景気動向指数は、先行指数44.4%、一致指数33.3%、遅行指数66.7%となった。

先行指数は、3か月連続で50%を下回った。

一致指数は、4か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は、7か月連続で50%となった後、50%を上回った。

5月の一致指数は、生産、労働関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列（9指標中4指標がプラス）</b>			
乗用車新車登録届出台数	5か月ぶり	新規求人倍率（全数）	2か月連続
生産財生産指数	2か月連続	所定外労働時間指数	2か月ぶり
入職率（製造業）	2か月ぶり	新設住宅着工床面積	6か月ぶり
企業倒産負債額	5か月ぶり	建築着工床面積	2か月連続
		中小企業景況D I	7か月連続
<b>一致系列（9指標中3指標がプラス）</b>			
大型小売店販売額（既存店）	4か月連続	鋳工業生産指数	6か月ぶり
海上出入貨物量（八戸港）	2か月連続	電気機械生産指数	2か月連続
日銀券月中発行高	2か月ぶり	大口電力使用量	2か月ぶり
		有効求人数（全数）	7か月連続
		総実労働時間数（全産業）	2か月ぶり
		東北自動車道IC利用台数	5か月ぶり
<b>遅行系列（6指標中4指標がプラス）</b>			
勤労者世帯家計消費支出（実質）	3か月ぶり	常用雇用指数（製造業）	9か月連続
1人平均月間現金給与総額	5か月連続	単位労働コスト（製造業）	3か月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	5か月ぶり		
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	8か月連続		

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」



#### (4) 青森県景気ウォッチャー調査

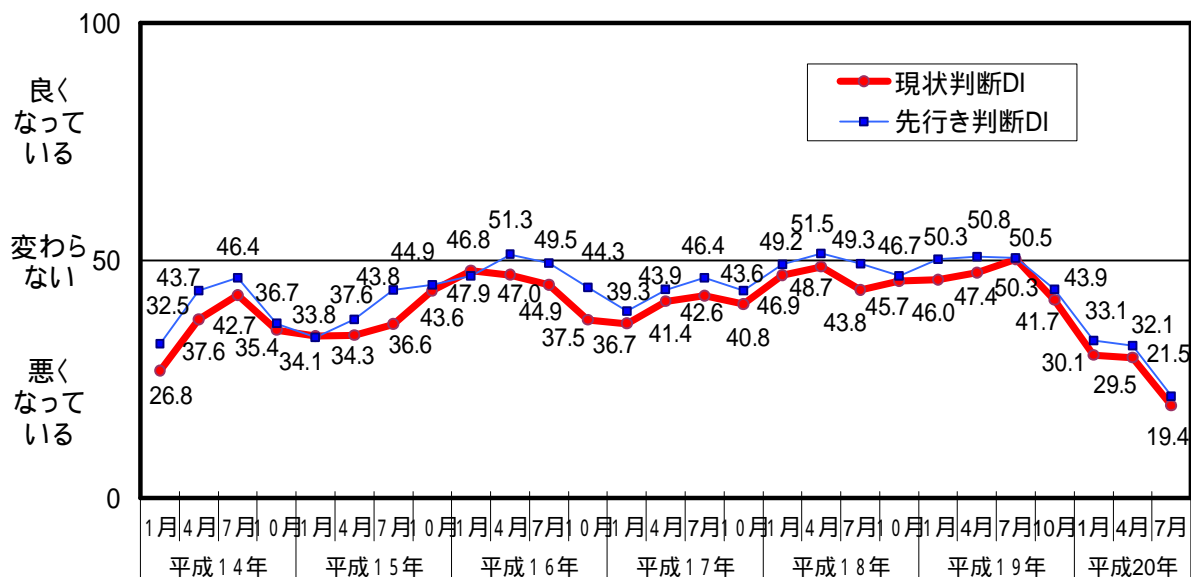
平成20年7月期の景気ウォッチャー調査は、7月1日～7月16日を調査期間とし、回答率は99%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは19.4で、前期調査を10.1ポイント下回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは21.5で、前期調査を10.6ポイント下回った。

7月期は、景気の現状判断DIが4期連続、先行き判断DIが5期連続低下し、いずれも4期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



#### 3か月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「変わらない」が14.1ポイント減少し、「悪くなっている」が18.2ポイント増加したことにより、全体では10.1ポイント減の19.4となり、4期連続で横ばいを示す50を下回った。</p>
向	<p>判断理由をみると、一部においてお客様の来場が増え、契約数も上がったという声や高額な旅行商品が売れているという声があったが、原油、原材料の高騰やガソリン、食品等の値上げが生活防衛を加速させ、消費者心理を冷え込ませているという意見が多かったほか、津軽地方でのりんごの霜・ひょうの被害が町の景気全体に暗い影を落としているという意見があった。</p> <p>前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。とくに、津軽地区では、19.2ポイント減と大幅な減少となった。</p>

#### 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「変わらない」が11.1ポイント減少し、「悪くなる」が17.2ポイント増加したことにより、全体では前期を10.6ポイント下回る21.5となり、4期連続で横ばいを示す50を下回った。</p>
向	<p>判断理由を見ると、景気が良くなる材料がないという意見のほか、燃油高による資材・原材料価格の高騰、コストの上昇やそれに伴う商品の更なる値上げによる消費の落ち込みを懸念する声が多かった。</p> <p>前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。とくに、津軽地区では、18.3ポイント減と大幅な減少となった。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

### 3 か月前と比べた景気の現状判断理由

5月、6月とお客様の来場が少なかったが、7月になってお客様の来場が増えてきた。ボーナスの効果なのか、契約数も上っている。(住宅建設販売=県南)

当社の高額商品が売れている。(旅行代理店=東青)

夏になったら仕事が出て来るかと期待をしていたが、全く期待はずれである。(タクシー=県南)

原油、各種の原材料の高騰、電気料、ガス、ガソリン、肥料、食品等々の値上げは生活防衛を加速させ、消費者心理一段と冷えこむ。(衣料専門店=津軽)

津軽のりんごのヒョウ被害により、実際の収入減はまだだが、町の景気全体に暗い影を投げかけている。(経営コンサルタント=津軽)

諸資材価格の高騰が企業収益を圧迫する状況が続いている。(紙・パルプ製造=県南)

求人、営業広告売り上げは右肩下がりが続いており、その度合いも強まっている。(新聞社求人広告=津軽)

×先日の宮城岩手の地震と原油高により、景気の悪化が加速していると思われます。(観光型ホテル・旅館=東青)

×ガソリン高の影響が、目に見えてわかります。店の前の国道を走る車の台数、来店客数、明らかに減っております。所得が増えていない中での食料品及びガソリン高、財布のひもは一段と固くなりました。(一般小売店=下北)

### 3 ヶ月後の景気の先行き判断理由

東北の祭りを経て景気づいてくれることを願います。(観光名所等=東青)

景気の良くなる材料がない。(一般飲食店=東青)

特に衣料品販売額が業界全体で10ヶ月以上連続の減少。相次ぐ値上げで、主要顧客の女性の生活防衛意識が今後も変わるとは考えづらい。(百貨店=津軽)

これまで景気が良いと言われていた中央都市圏も悪い方向に行きだしたので、これまで悪かった当地方はますます下向きではないか?(設計事務所=県南)

燃油高による資材、コストの上昇による業界の商品値上げが進み、消費が落ちこむだろうから。(飲料品製造=県南)

一層の原油高による企業マインド・個人消費者マインドの冷え込みに加え、霜・ひょう害による農家の支出控えは間違いなく景気悪化を招くと思うため。(新聞社求人広告=津軽)

×物がなんでも高くなって、飲みに来る人が少なくなると思います。(スナック=津軽)

×原油高騰で、これから寒い時期になっていくと、灯油代が重くのしかかっていくと思う。(コンビニ=下北)

×原材料価格の益々の高騰が予想される事。公共、民間共に事業量が減少する事。(建設=東青)

記号の意味: 良くなっている、やや良くなっている、変わらない、やや悪くなっている、×悪くなっている

資料: 県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」